

第1章 文法確認編

京大の問題といえども全てが難問というわけではない。基本的なことを問うている場合もある。さらには、難解な日本語をいかに基本的な文に英訳するかも腕の見せ所であろう。その際に必要とされるのは、やはり文法に対する基本的な知識となる。そこで、まず第1章では時制を中心とした、全ての英作文の土台となる最低限必要な文法項目のおさらいから始めたい。とは言え、本書は基礎から英文法を学ぶための指南書ではないので、徹底的に一から文法をおさらいしたい方はそれなりの本で学ぶことをお勧めする。

ただ、筆者が考える文法とは、いわゆる文法問題と称される受験参考書的な文法ではない。あくまでも正確な英文に近づけるための文法である。そのためか、通常の文法用語とは異なる筆者独特の用語(〈近い形〉・〈遠い形〉など)を入れてある箇所があり、それらについては本書でも簡単な解説は添えておくものの、本書はあくまでも〈京大で出題された英作文〉に主眼を置くため、踏み込んだ解説まではしていない。〈英作文のための英文法知識〉に関して詳しい解説をお知りになりたい方は、拙書『例解 和文英訳演習 文法矯正編』(プレイス刊)を一読いただきたい。特に冠詞についてはまだまだ踏み込んだ解説があるので、京大レベルの英作文に挑戦なさる方には是非とも再考をお薦めする。

まず、以下の8項目についてご自分の考えをチェックしてから本文に臨んでいただきたい。

【チェックリスト】

- 1. 「現在形」は現在を表すと思っていないか? ⇒§1
- 2. 「～した」という訳を全て過去形にしていないか? ⇒§3
- 3. 「過去形」は過去だけを表すと思っていないか? ⇒§4、5、6
- 4. 「関係詞」の制限用法と非制限用法の違いは訳し上げと訳し下げだけだと思っていないか? ⇒§10
- 5. 「～すること」という訳はto不定詞でも動名詞でもどちらでもよいと思っていないか? ⇒§11
- 6. 「本を読む」をread a bookだと思っていないか? ⇒§11
- 7. 「It is ～ that…」を強調するための構文だと思っていないか? ⇒§14
- 8. 「受動態」にいつもby以下を付けていないか? ⇒§16